

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔書店〕 （経営者）	・店内改装の成果が徐々に出ており、売上は前年をクリアしていけそうである。
		一般小売店〔生花〕 （経営者）	・スーパーでの販売用がわずかずつではあるが売上を伸ばしており、先行きも期待できる。
		スーパー（経営者）	・大手ショッピングセンターの改装開店が落ち着き、経営努力が徐々に結実していきそうである。
		スーパー（店長）	・お中元が伸びており、ギフト関係が伸びるのは久しぶりであるため少しは明るい兆しである。
		スーパー（総務担当）	・お中元商品の売行きが昨年より金額で10%以上増加し、一品あたりの単価も上昇傾向にある。
		スーパー（経営企画担当）	・購買層の動きが底固くなってきている。
		コンビニ（エリア担当）	・競争激化による売上の前年割れ状況は今後も継続するが、最近では好天が続いており、売上也好調に推移してくる。
		コンビニ（店長）	・万博終了までは特需が見込める。
		乗用車販売店（経営者）	・今後も上向きの状況は続きそうである。ただし販売店としては競争激化で相変わらずもうからない。
		乗用車販売店（従業員）	・高級乗用車がデビューし、自動車業界は活性化する。
		乗用車販売店（従業員）	・今後新型車の投入が盛んになってくるのを機会に、来客数が増加し店頭で活気がよみがえる。各社の販売競争は激化するが、市場は活性化される。
		その他飲食〔仕出し〕 （経営者）	・この地域のイベントは一通り終わるが、その後も勢いを維持する。
		旅行代理店（経営者）	・愛知万博が終了すると、旅行需要も変わってくる。
		タクシー運転手	・利用客は漸増傾向にあり、少しずつ良くなっている。
		美容室（経営者）	・客の目は厳しいものの、自分に対しては少しずつお金を使っていく。
		設計事務所（経営者）	・2、3か月後の案件が入ってきている。
住宅販売会社（従業員）	・大手自動車製造業の地元地域では、従業員などの住居確保のため、好調な来客がしばらく続きそうである。		
住宅販売会社（従業員）	・分譲住宅と分譲マンションの売行きが良くなっている。		
変わらない		商店街（代表者）	・愛知万博が終了するまではあまり消費が伸びそうにない。
		百貨店（売場主任）	・クリアランスでも必要最小限の目的買いの客が多く、目的以外の商品をついでに購入する客はまだまだ少ない。今後もこの傾向は続く。
		百貨店（売場主任）	・クリアランスセールは好調であるが、セール前は買い控えがあり、セール後も反動で売上が減少する傾向がある。
		百貨店（企画担当）	・万博終了後の反動も予想しているが、婦人服・紳士服といった百貨店の主力アイテムが単月ではなくここ数か月連続して好調を維持している。底の状態は脱した様子であり、消費者はファッションアイテムに関心を持ちつつある。そのため、秋冬商戦においても堅調な売上を期待できる。
		百貨店（外商担当）	・高額品が動くようになると良くなるが、まだ少し時間がかかりそうである。
		スーパー（店員）	・土用の丑の日のうなぎの予約が今年の2倍になったように催事があれば瞬間的に売上が上がるが、今後はこのような催事もない。
		コンビニ（エリア担当）	・観光客などの戻りはあるが、上期末の競合店の出店の影響がありそうである。
		コンビニ（エリア担当）	・競争環境は厳しくなる一方であるが、給料日後の販売量の伸びなどでは活性化しており、良くはならないが悪くもならない。
		コンビニ（エリア担当）	・天候次第であるが、競合店の出店もあり、今より良くなることは難しい。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・注文量の減少が続いている。
		家電量販店（経営者）	・客の慎重な消費態度は今後も続き、景気の浮上にはまだ時間がかかる。
		乗用車販売店（経営者）	・最もボリュームの大きいファミリー層が買い控えている現状では、特に大きな変化は期待できない。

	乗用車販売店（従業員）	・車の動きは良くないが、客から仕事が増えたと聞くこともあり、好材料と不安材料は半々である。
	住関連専門店（店員）	・インテリア用品や家庭用品などは、現在のような一時的な景気の良さにはあまり影響を受けない。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・動く要因が見当たらず、今年度はこのままの状態推移する。
	その他小売〔総合衣料〕（店員）	・ヒットする製品が出るかもしれないが、衣料品全般では必要な物しか買わない傾向は今後も続く。
	一般レストラン（経営者）	・客の動きはしばらく前から全く変わらない。今後もこの傾向は続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・愛知万博の終了後も、年内は人の動きが期待できる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・個人予約が好調である。
	タクシー運転手	・先月や今月は昨年、一昨年に比べて客も売上も増加しているが、万博終了後には反動減も見込まれるため、秋以降は例年並みに戻る。
	通信会社（企画担当）	・万博に続いて市制100周年事業も始まり、しばらくはこの水準を維持していきそうである。
	ゴルフ場（経営者）	・来月以降3か月間の予約数は前年とほとんど変わっていない。予約が入るタイミングが遅くなっているため、若干はプラスになると期待しているが、単価は厳しい。
	ゴルフ場（営業担当）	・会員権は現在は価格の安い物件の取引が多い。手数料を少額しかとれない状況はまだ続く。
	パチンコ店（店長）	・2、3か月後も愛知万博の影響で、レジャー資金が当業界に流れてくることはない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・地域電気専門店としてはできるだけ客と接触しきめ細かなサービスを実践しているつもりであるが、デジタル家電をはじめとする単価の低下や、競合店との価格競争にはなかなか対応できない。
	商店街（代表者）	・現在は愛知万博の特需により売上は増えているが、万博終了後は若干悪くなる。
	百貨店（販売促進担当）	・愛知万博の終了後の反動がある。
	スーパー（店長）	・大型店の出店の影響に対しては、手の打ちようがない。
	コンビニ（経営者）	・酒販新規免許数の増加は続き、既存酒販組合員の廃業は今後も増える。
	乗用車販売店（従業員）	・最大の需要月である7月の販売量が悪いので、今後も期待できない。
	スナック（経営者）	・売上は8か月連続で前年を上回っている。まだリストロの話聞くが、そろそろ終盤に差し掛かっている感があり、年末にかけて期待できる。
	都市型ホテル（従業員）	・愛知万博が終了し、悪くなる。
	旅行代理店（従業員）	・原油価格高騰のため航空会社は運賃に上乗せしているが、今後は影響が出てきそうである。
	美容室（経営者）	・価格が安い競合店の出店で、既存店は影響を大きく受ける。
	住宅販売会社（経営者）	・個人の所得は増えてない様子で、増税問題もあり、客は模様眺めの状況である。
	悪くなる	商店街（代表者）
コンビニ（店長）		・当地域でも各チェーンの出店ラッシュが続いており、ますます競争が厳しくなる。
都市型ホテル（経営者）		・愛知万博の終了後は来客数が減る。
都市型ホテル（支配人）		・名古屋は愛知万博後の反動が心配である。団体の宿泊や宴会受注が悪い。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・9、10月の受注量は今月より5～8%増加する見込みである。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・窯業界の景気の先行指数となる新住宅着工件数は増加傾向にある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・新しい開発物件に関する問い合わせが発生しており、今後は上向きそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・原油高、人民元の切り上げがあったが影響は小さく、手堅い方向に向かっている。
建設業（総務担当）	・問い合わせの電話が増えている。	

		会計事務所（社会保険労務士）	・建設業を中心に受注が増加している。顧問先では利益が出てきているところが増加している。
変わらない		金属製品製造業（従業員）	・仕事量は持ち直すが、実際の売上につながるまでにはタイムラグがあり、心配である。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・現在の活発な設備投資熱は今年中はおさまらないという情報を顧客から得ている。実際、今年中は生産能力を上回る案件を受注している。しかし原材料費が高騰しているため、これ以上景気が良くなるとは考えられない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・これから下期計画の見直し作業に着手する時期であるが、満足な受注は期待できず業績確保に頭を悩ませなければならない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・原油の価格高などの不確定要素が多い。
		輸送業（エリア担当）	・荷物の動きはそこそこ良いが、燃料費の高騰分の運賃値上げは今後もあまり期待できないため、車両収支の悪化は避けられない。
		公認会計士	・大手銀行の中小企業融資態度はまだまだ厳しい。 ・不良債権問題が一段落したとされるが、中小企業の淘汰は一巡していない。 ・燃料などのコスト高による収益圧迫がある。
やや悪くなる		食料品製造業（企画担当）	・取引先への販売価格は依然として低下傾向にあるが、販売数量は伸びていない。また、原油価格高騰の影響で、工場の動燃費や原材料が値上がりしており、製造原価は確実に上昇しているが、販売価格へ転嫁できない。
		窯業・土石製造業（社員）	・受注量は減少しないが、原材料価格がじわじわ上昇している。これに対し販売価格の値上げ交渉は難航しており利益を圧迫している。
悪くなる		金属製品製造業（経営者）	・販売価格の競争がますます厳しくなる。原材料については将来的には弱含みの物も出始めているが、購入価格が高止まりしており、収益面でさらに厳しい状況となる。
		輸送業（従業員）	・トラック運輸業界では、合理化やリストラは限界に達しており、軽油の値上げがもろに経営を圧迫し、赤字の企業が大幅に増える。
雇用関連	良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・工作機械のメーカーでかなりの求人が出てきている。また卸小売、サービス、運輸・倉庫、建設などでも求人意欲が高く、良い傾向である。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・専門性の高い職種のオーダーや長期オーダーが増えている。企業が業績の伸びに対応して、正社員を増やさず派遣スタッフで対応しようとしており、良い傾向である。
		人材派遣会社（社員）	・10月以降は、人材需要が再度増加しそうである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員採用ではないが、愛知万博終了後のスタッフ確保をねらっている企業があるため、求人が活発化する気配がある。
		求人情報誌製作会社（編集長）	・愛知万博終了後の人の動きをにらんだ募集ニーズがあり、10月ころまで活性化しそうである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・愛知万博に従事している人材を求めて、愛知万博終了前後の9～10月には求人採用活動が活発化し、やや上向き見込みである。
		職業安定所（所長）	・依然として企業には人手不足感が強くあり採用意欲は高まっている。来春の高卒者求人も前年度より件数で31%、求人数で25%増加している。
	変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・求人数は輸送用関連、IT関連など各業種ともに動きは活発だが、求職者数は全般的に少なく、受注に結び付かない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・業種間格差、企業規模格差から地域間で格差が生まれているが、その幅が広がっている。この格差の幅が縮まらない限り良くならない。
		職業安定所（職員）	・製造業の人手不足がまだまだ続くなか、派遣やアウトソーシングへの需要が根強い。派遣許可届出事業所の増加も見込まれている。
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・求人案件が少しずつ減少傾向にある。秋以降には愛知万博が終了し、スタッフがあふれて需給バランスが逆転する。	
悪くなる		-	-